



## 第2回年会在三島市東レ総合研究センターで開催されました

- 第2回日本エピジェネティクス研究会年会在、5月9日(金)・10日(土)の両日、三島市の東レ総合研究センターで開催されました。260名(一般198名、学生62名)の方に参加して頂き、12社の企業に展示をして頂きました。皆様、大変ありがとうございました。
- ポスター88題、招待講演2題、口演13題の発表が行われました。ポスター会場は、先に進めない程多くの人であふれ、参加者同士の活発な意見交換の場となりました。口演会場においても熱心な質問が飛び交い、とても盛況な年会となりました。今回からの新たな試みとして、ポスター演題からショートトークを選出しました。2演題(ハーバード大 酒井晶子先生・熊本大 石原宏先生)が選ばれ、最新の研究成果が発表されました。
- 年会の様子はホームページに掲載されておりますので、ご覧ください。<http://www.nig.ac.jp/labs/NigPrjct/jse/08photo.html>



会場の東レ総合研究センター



熱気あるポスター会場



年会同様に盛り上がる懇親会

### 幹事会と総会が開かれました

- 5月9日に幹事会、5月10日に総会が行われました。
- 2010年の年会長に押村光雄幹事(鳥取大学)が選出されました。なお、2009年の年会長には湯浅保仁幹事(東京医科歯科大学)が既に選任されています。
- 企画委員会が設置され、研究会としても研究費の獲得などに向けた活動を企画することになりました。

### 年会に参加して ～エピジェネティクスの更なる挑戦～

第2回年会のテーマは『エピジェネティクスの新たな挑戦』でした。そのためか、前年と比較して一般口演の内容が、分裂酵母を用いた基礎研究とヒト疾患に関する応用研究の両極端であった印象を受けました。理想的には、基礎研究は応用を視野に入れて、応用研究は基礎の成果を利用して行われるべきだと思います。

しかし、現状ではその両極の隔たりはかなり大きいと思いました。今後は、その両極をつなぐ研究が求められ、エピジェネティック研究の更なる挑戦が必要だと感じました(国立がんセンターN)。

### 2009年の年会の予定が決まりました

第3回年会は2009年5月22日(金)、23日(土)に学術総合センター(東京都千代田区一ツ橋)にて開催されます。奮ってご参加ください。

#### 情報を求めています!!

研究員・ポスドク募集および他の研究会のお知らせなど、ニュースレターを利用して公開してみませんか。年会に関するご意見・ご感想もよろしくお願ひいたします。お近くの広報委員(牛島俊和、梅澤明弘、角谷徹二、古関明彦、佐々木裕之、中島欽一各幹事)に気軽にe-mailください。

日本エピジェネティクス研究会事務局  
東京医科歯科大学 医歯学総合研究科  
分子腫瘍医学分野内  
庶務担当幹事 湯浅保仁  
担当: 小澤良子  
住所: 〒113-8519  
東京都文京区湯島1-5-45  
TEL: 03-5803-5184;  
E-mail: [jse.monc@tmd.ac.jp](mailto:jse.monc@tmd.ac.jp)